平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	就職活動実践講座(Job Hunting In	formation Session)		授業コード	A031452
担当教員名			科目ナンバリン グコード	A20208	
配当学年	3	開講期	後期		
必修•選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意また は履修条件	就職活動に必要な科目なので、必ず受講して下さい。				
受講心得	講堂での多数の学生が受講する授業になりますので、私語を慎み、他の学生の勉学の妨げにならないようにしてください。				
教科書	就活サポートBOOK(進路開発センター	-で配布)			
参考文献及び指定 図書					
関連科目	産学一致の勧め、就職講座				

授業の目的	就職活動の準備として、自己理解、ビジネスマナー、業界研究、面接対応などの実践的な事項を学びます。
授業の概要	自己PRの基礎となる自己分析、企業研究の為の情報収集とその分析方法、ビジネスマナー、面接への対応体験など具体的な就職活動スキルを身に付けられるようにカリキュラムが組み込まれており、これから始まる就職活動へ備えます。

〇授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週:講座の説明および職業適性検査の実施	
講座の目的を説明。また、職業適性検査で早期に自分自身を知り、どのような職業が向いているかを把握させる。	
第2週:就職試験マナー	
実際に働いている企業の方から就職活動での挨拶、言葉遣い、態度などビジネスマナー の重要性を学ぶ。	ビジネスマナー等の重要性についてレポートをまとめる(1h・1h)
第3週:採用担当者から見る就職活動の身だしなみ	
第一印象の重要性やスーツ等の着こなし方について学ぶ。	第一印象の重要性やスーツの着こなしのポイント等についてレポートをまとめる(1h・1h)
第4週:履歴書の書き方	
履歴書の重要性・書き方を実践的に学ぶ。	
第 5 週:職業適性検査の振り返り	
第1週目で実施した職業適性検査の結果を基に振り返りを行い、将来の方向性を考える。	結果を基にどの職業に適しているか等をレポートにまとめる(1h・1h)
第 6 週:業界・企業研究の仕方を知る	
企業には、企業理念や沿革など様々な思いから企業は成り立っている。そのことを知り 企業の思い・魅了を見つけ出す方法を学ぶ	
第 7 週:業界研究(1)	
企業の採用担当者から直接業界の内容と履歴書や面接時の視点などについて学ぶ。	業界の仕組みや企業の魅力などをレポートにまとめる(1h・1h)
第 8 週:業界研究(2)	

企業の採用担当者が	から直接業界の内容と履歴書や面接時	の視点などについて学ぶ。	業界の仕組みや企業の魅力など をレポートにまとめる(1h・1h)
第9週:業界研究	(3)		
	から直接業界の内容と履歴書や面接時	の視点などについて学ぶ。	業界の仕組みや企業の魅力などをレポートにまとめる(1h・1h)
第10週:PROGテス	<u> </u>		
	トリテラシー(知識を活用して問題 は状態をもたらそうとするカ)を行う。	解決する力)、コンピテンシー	
第11週:集団面接	、個人面接の内容を知る		
集団面接、個人面接習)	きを学ぶ。(第12週~第15週の実践的に	実施する集団面接 事前学	面接のポイントや注意点をレポートにまとめる(1h・1h)
第12週:集団面接	、モチベーションストレスマネージメント	·、面接DVD学習(1)	
	各々集団面接あるいはモチベーションス 面接学習(個人面接)等を行う。	ストレスマネージメント講義あ	体験した集団面接で感じたこと、D VDを見て個人面接のポイントや 注意点をレポートにまとめる(1h・ 1h)
第13週:集団面接	、モチベーションストレスマネージメント	·、面接DVD学習(2)	
	各々集団面接あるいはモチベーションス 面接学習(個人面接)等を行う。	ストレスマネージメント講義あ	体験した集団面接で感じたこと、D VDを見て個人面接のポイントや 注意点をレポートにまとめる(1h・ 1h)
第14週:集団面接	、モチベーションストレスマネージメント	·、面接DVD学習(3)	
	各々集団面接あるいはモチベーションス 面接学習(個人面接)等を行う。	ストレスマネージメント講義あ	体験した集団面接で感じたこと、D VDを見て個人面接のポイントや 注意点をレポートにまとめる(1h・ 1h)
第15週:集団面接	、モチベーションストレスマネージメント	·、面接DVD学習(4)	
	各々集団面接あるいはモチベーションス 「接学習(個人面接)等を行う。	ストレスマネージメント講義あ	体験した集団面接で感じたこと、D VDを見て個人面接のポイントや 注意点をレポートにまとめる(1h・ 1h)
第16週:業界•企美			
	ド研究拠強会参加 企業を招いて行う業界や企業について ⁹	学ぶ『業界・企業研究勉強会』	
	(1)授業の形式	 「演習等形式」	1
 授業の運営方法	(2)複数担当の場合の方式	 「共同担当方式」	
The state of the s	(3)アクティブ・ラーニング		
地域志向科目	該当しない		
備考			
MIN . A			

〇単位を修得するために達成すべき到達目標		
【関心·意欲·態 度】	就職に対する強い意識を持つ。	
【知識・理解】	就職活動に対する実践的な力をつけ、自信を持って就職活動できるようにする。	

【技能・表現・コミュニ ケーション】	面接を経験し自信を持って対処できる。
【思考·判断·創 造】	

〇成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評 価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【 関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」 を含む。		30点		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。			40	点
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			30	点
【 思考・判断・創造】 ※「考え抜くカ」を含む。				

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安		
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安	
レポート・作品等 (提出物)	達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。	
発表・その他 (無形成果)	課題提出および集団面接での発言や態度を評価に含めます。	